

地域保健

1
2017

●新春座談会

児童福祉法等の改正と今後の保健師活動

●特集

災害関連死を未然に防ぐ





《表紙イラスト》
山本まもる

「パパ、ボクのお家真っ赤にしてよかったね。だって雪で真っ白な世界になると赤がとってもキレイ。へへ」

6

【座談会】

児童福祉法等の改正と今後の保健師活動

～予防を担う専門職として～



【出席者】

吉岡京子さん

(東京医科大学医学部看護学科) = 司会

吉澤みどりさん

(渋谷区保健所 幡ヶ谷保健相談所)

山本弘庫さん

(横浜市子ども青少年局 子ども家庭課)

永見道枝さん

(防府市健康福祉部 子育て支援課)

30

【特集】

災害関連死を未然に防ぐ

32 災害関連死を防ぐために何が必要か

小早川義貴 (国立病院機構災害医療センター)

36 避難生活におけるエコノミークラス症候群の脅威

榛沢和彦 (新潟大学)

42 災害時の歯科保健の重要性

中久木康一 (東京歯科大学)

2 ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ! ▶ 松井頌子さん (新潟市江南区役所健康福祉課)

64 REPORT 1 ▶ 平成 28 年度 地域・職域連携推進関係者会議

66 REPORT 2 ▶ 第 2 回「全国男性保健師のつどい」

68 REPORT 3 ▶ ふるさとの会・支援付き住宅推進会議 共催シンポジウム 2016

52 ピーブル ▶ 細尾ちあきさん (NPO 法人ぶるすあは制作部)

56 2025 年問題に備える～みんなで取り組む「地域づくり」▶ 埼玉県小鹿野町《後編》

90 情報 B O X

74 理解して生かす保健師用語 ▶ ニーズ

96 次号予告／奥付

連 載

48 Integrated Health のすすめ《第 5 回》／今 知美

50 ESSAY 国際保健《第 17 回》／松田正己

70 保健師のための閑話ケア《第 68 回》／藤本裕明

76 百花繚乱 「福寿草」《第 2 話》／森岡花華

78 中臣さんの環境衛生ウオッチング《第 53 回》／中臣昌広

82 地域保健で求められるソーシャル・キャピタル醸成事業
〔隔回連載〕《第 3 回》／佐々木 亮平、岩室 紳也

86 言葉と発達 いまどき子育てアドバイス《第 227 回》／中川信子

ひよこ

ホップ★

ステップ★

ジャンプ!



松井頌子さん

まっつい・しょうこ

● 新潟市江南区役所 健康福祉課

『次からはあなた一人でもいいわよ』
と言われたことで
ようやくスタートラインに立てたと思った。



文：太田美由紀 写真：カミヤス セイ

児童福祉法等の改正と

今後の保健師活動

● 予防を担う専門職として

児童福祉法等の一部を改正する法律が施行され、母子保健法の中に、児童虐待の予防・早期発見に関する国や自治体の責務が明記された。また、市区町村において、子育て世代包括支援センターや要保護児童等に対する支援拠点の整備も進められようとしている。

保健師はこれまでも母子保健の立場から児童虐待予防に取り組んできた。その中で、ポピュレーションアプローチからハイリスクアプローチまで関わることでできる専門職というのが保健師の立ち位置であり、特長でもあった。法改正を受けて今後、それぞれの機関・部署における保健師の役割はどうなっていくのか。新春座談会では、新たな制度下において、保健師が児童虐待予防に関わるのかを議題としながら、今後の母子保健の在り方や保健師のアイデンティティーなどを描き出す。



◆ 防府市健康福祉部子育て支援課
永見道枝さん



◆ 横浜市子ども青少年局子ども家庭課
山本弘庫さん



◆ 渋谷区保健所轄ヶ谷保健相談所
吉澤みどりさん



◆ 東京医科大学医学部看護学科
吉岡京子さん

司会

災害関連死を未然に防ぐ

災害関連死は、一般的には、災害の直接的な被害による死ではなく、避難生活の長期化による疲労や、環境の悪化などにより病気にかかったり、持病が悪化するなどして死亡することだと理解されている。

今回の特集では、災害関連死に結び付きやすい事柄について、現在も被災者の支援に当たっている医師、歯科医師に解説していただいた。



P32 災害関連死を防ぐために何が必要か
◎小早川義貴（国立病院機構災害医療センター）

P36 避難生活におけるエコノミークラス症候群の脅威
◎榛沢和彦（新潟大学）

P42 災害時の歯科保健の重要性
◎中久木康一（東京医科歯科大学）

細尾 ちあきさん

●NPO法人 ぷるすあるは 制作部

絵本を通して、子どもに安心と希望を届けたい

「ぷるすあるは」は、親がうつ病の子どもや、発達凸凹など、人に言えない悩みを持つ子どもを応援するために、絵本制作やサイトを通じて情報発信を行っている。細尾さんは主に、絵と物語を担当している。

●聞き手……………編集部

はじまりは紙芝居から

細尾さんは、看護師でもあるのですね。

細尾 もともととは、精神科の医療機関で長く勤務していました。その後、精神保健福祉センターで、思春期の子どもたちのこのころの健康相談に応じていました。話を聞いていく中で、不登校やひきこもりなど、学校に行くのがしんどい子どもたちの背景には、さまざまな家庭問題が隠れていることがあると分かりました。

そこでプロジェクトチームを作り、機能

不全家族の中で育つ子どもに対しての教育プログラムを実施することになりました。このプログラムは、親の病気のことや自分を大切にするを知ってもらうための勉強会ですが、その導入に、ひとりじゃないと感じられるような、紙芝居を演じることになりました。紙芝居の制作と実演は私が担当したのですが、実は、絵を描いたのはそのときが初めてでした。どちらかというと、絵には苦手意識があったのです。でも、思いのほかオリジナリティー豊かなものに仕上がりが、子どもも「手作り感満載！」ってつつこみを入れながらも、真剣にお話を聞いてくれました。子どもだけでなく、支

援者の大人にも分かりやすかったようでした。

そのとき、こんな風に、絵で見せて訴えるのも「面白いかもな」と思ったのです。

—それで絵本を作るようになったのですか。

細尾 同じチームの医師、北野陽子と2人で、2012（平成24）年に絵本制作のプロジェクトチーム「ブルスアルハ」を立ち上げました。その後、15（平成27）年には普及啓発活動も行う「NPO法人 ぷるすあるは」が、北野を代表として設立されました。

バックナンバー紹介

2015 年 12 月号

特集「難病保健を推進するために」

新しい制度下における保健師の難病保健と難病支援の在り方に関する座談会、地域包括ケアシステムと難病対策、難病患者の就労支援で構成。

2016 年 1 月号

特集「成功に導く ポピュレーションアプローチの進め方」

成功すれば社会的影響が大きいポピュレーションアプローチ。概念の正確な解説とともに、全国で先進的に実施している成功例を紹介。

2016 年 2 月号

特集「高齢者の心と向き合い、生きがいを支える」

高齢者＝弱者ではなく、喪失体験と折り合いをつけていく強さも持っている。さまざまな視点から「老い」に対する理解を深める。

2016 年 3 月号

特集「保健師にとって根拠（エビデンス）とは何か？」

保健師がよく使う根拠（エビデンス）という言葉について整理を試みる。研究機関と現場、それぞれの「知」を融合させる一歩を目指す。

2016 年 5 月号

特集「次世代に伝えたい保健師のスキル」

若手・中堅のスキル低下が危ぶまれる状況を背景に、ベテラン保健師が伝えたいことを独自の視点でまとめる。

座談会「新しい時代における保健師のビジョン」

地域包括ケアの推進や産業界とのコラボレーションなど、保健師を取り巻く環境が大きく変わる中で、公衆衛生看護の担い手である保健師の立ち位置を模索する。

2016 年 7 月号

特集1「保健師が関わる地域包括ケア」

保健・医療・介護の大きな流れである地域包括ケアについて、保健師の関わり方に焦点を当て、各地の好事例を紹介する。

特集2「小児慢性特定疾病対策を推し進める」

改正児童福祉法に基づく小児慢性特定疾病対策について、新制度への理解を深めるとともに、保健師が関与した具体例を見る。

2016 年 9 月号

特集1「がんサバイバーシップを支える」

がんの治療後に充実した幸せな人生を送るための「がんサバイバーシップ」を地域で支えていく取り組みを事例紹介とともに考える。

特集2「災害時の子どものメンタルヘルス」

東日本大震災で子どもの心のケア支援に当たった医師・保健師が語る、ケアのポイント。熊本地震の子どもの心のケアに関するレポートも。

2016 年 11 月号

特集1「事例検討会を効果的に進める」

日本看護協会が開発した事例検討会の手法を中心に、効果的な事例検討会の進め方の解説をはじめ、参考となる取り組み事例などをまとめる。

特集2「私のターニングポイント」

保健師が成長するプロセスでは、さまざまな出来事や人との出会いがある。ベテラン保健師の方々に、保健師としての転換期（ターニングポイント）を軸に、自らの保健師のキャリアを振り返っていただく。

お申し込みは

(株) 東京法規出版 地域保健編集部

FAX : 03 - 5977 - 0385

※バックナンバーの価格

(2016 年 3 月号まで) 925 円 (税込) + 送料 140 円、(2016 年 5 月号から) 1,480 円 + 送料 151 円

『地域保健』購読のご案内

●年6回、隔月〔奇数月〕1日発行

●B5判、総100頁（本文96頁、表紙4頁）

●価 格 1冊あたり 1,480円（税込）、送料151円

年間購読 《公費前納および個人》7,990円（税込、送料弊社負担）

年間購読 《公費後納》8,878円（税込、送料弊社負担）

※学生割引あり。 ※学生および書店の方は下記にお問い合わせください。

お申し込み

電話 03-5977-0300 FAX 03-5977-0385 ウェブ <http://www.tkhs.co.jp>